

平成20年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市茶業振興センター
所在地	四日市市水沢町268-3
指定管理者	名称 水沢茶農業協同組合 代表者 代表理事 堤 利道 住所 四日市市水沢町2441-3
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課(問合せ先)	商工農水部 農水振興課 農業センター TEL：059-326-0132 E-mail： nougyoucenter@city.yokkaichi.mie.jp

■ モニタリングの総合コメント

当施設の管理運営状況については、施設の目的を十分達成し、指定管理者導入の目的である利用者の利便性の向上と経費の削減も果たしています。また、施設の維持管理も適切に行われていることから総合的に判断して良好と評価します。

管理運営については、計画どおり運営され、利用者数も当初計画を上回りました。

業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施していました。

自主事業については、9月に手摘み、手揉み体験イベントを実施したが、参加者から好評であったので、次年度も継続して実施する予定であります。

経費については、施設管理費の節約により、備品の購入を行い、施設設備の充実を図ることができました。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

農業者への利便が図られたが、一般市民の利用は、小中学生の社会見学が中心であり、まだ少ないと考えられます。

今後イベントを充実し、茶業振興センターに市民の来訪者を増やすことにより四日市の特産物である茶を市民に一層アピールしていくよう指導しました。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

施設は先着順の予約とし、担当者が茶の歴史や工場機械の説明を行っていた。また説明の不要な場合はだれでも自由に見学できるよう配慮されていた。今年度は、茶工場の研修加工も増え、施設としての効果も増していると考えられる。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

小中学生の社会見学は、利用者数は年々増加しており、担当者の対応は適切であり、説明もわかりやすく、好評であった。自主事業である茶摘体験は、20年度は参加者が少なかったため、PR方法などを見直すように指示した。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、職員の勤務体制や開館時間を遵守し、適切に運営されていました。施設の維持管理についても、計画通り実施されていた。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

各種支出について適正に処理され、領収書や経理関係調書も整理されていました。施設の保守点検等に関する報告書類も整理されていた。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

指定管理者が独自の防災マニュアルを持っており、利用者の安全を十分考慮して計画をたてていました。新型インフルエンザの蔓延時は市の指示に従うよう連絡した。

社会性（環境等への配慮）

不要個所の照明の消灯や清掃時の節水等の省力化、ゴミ等廃棄物の分別化について、それぞれ創意工夫をして実施されていました。

事業収支

経済性

事業収支について当初計画の範囲内において適正に執行されていた。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された財務諸表等を分析した結果、特に大きな課題や問題はなく、財務指標についても特に問題はないと判断した。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成20年度

施設名	四日市市茶業振興センター		所管課:商工農水部農水振興課
所在地	四日市市水沢町268番地3		設置年月:平成 3 年4 月1 日
設置目的	茶業技術の発展及び茶業従事者の技術向上並びに茶の消費拡大により茶業の発展を図ることを目的に設置された。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市茶業振興センター条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	3,353.66
		延床面積 (㎡)	596.5
	事業概要	研修茶工場 246.68㎡ 研修棟 349.82㎡ 研修室 79.10㎡ 事務室 28.20㎡ 実験室 41.40㎡ ホールその他 201.12㎡ 研修茶工場、研修室の貸館 茶成分分析の実施 病虫害情報の提供 施設見学者への案内、説明	

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	306日	307日	1日
開館時間	8:30~22:00	8:30~22:00	

3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
延べ利用者数	2,900人	3,266人	366人
平均利用率	平均 9.5人/日	10.6人/日	1.1人/日

4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
茶工場利用料金	20,000	278,870	258,870
指定管理料	4,562,000	4,562,000	0
自主事業収入 物品販売 イベント	110,000	59,002	△ 50,998
その他 (利息)	3,000	2,911	△ 89
収入計	4,695,000	4,902,783	207,783
人件費	2,732,000	2,512,900	△ 219,100
管理費	1,560,000	2,195,748	635,748
消耗品費	150,000	110,197	△ 39,803
燃料費	160,000	214,200	54,200
印刷製本費	0	0	0
光熱水費	720,000	861,575	141,575
修繕料	100,000	0	△ 100,000
通信運搬費	50,000	41,851	△ 8,149
保険料	120,000	118,280	△ 1,720
手数料	0	3,045	3,045
委託料	260,000	254,100	△ 5,900
備品購入費	0	172,500	172,500
その他	0	420,000	420,000
事業費 (ソフト事業等)	110,000	10,000	△ 100,000
一般管理費	293,000	0	△ 293,000
支出計	4,695,000	4,718,648	23,648
収 支	0	184,135	184,135

平成20年茶業振興センター 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	306	307	1	仕様書どおり適性に運用されていた	適
開館時間	9:00～22:00	9:00～22:00	計画どおり	仕様書どおり適性に運用されていた	適
事業開催	2事業	2事業	計画どおり	仕様書どおり適性に運用されていた	適

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用者数	設定なし	参観者数	262	366	当初計画を上回る利用状況、稼働率であった。	適
		研修室利用者	3,004			
		計	2,900			
稼働率	平均	9.5人/日	10.6人/日	1.1人/日		

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
研修室使用料金	20,000	278,870	258,870	茶工場の研修利用が多かった	適	
指定管理料	4,562,000	4,562,000	0			
自主事業収入	物品販売 イベント	110,000	59,002	△ 50,998	イベント参加者が少なかったため、自主事業収入がやや落ち込んだが、茶工場の研修茶利用が多かったため、計画より収入増となった。	適
	利息	3,000	2,911	△ 89		
収入計	4,695,000	4,902,783	207,783			
人件費	2,732,000	2,512,900	△ 219,100	〔勤務体制：臨時3人〕 勤務人数は常勤1、補助2であるが、補助員の出勤を必要最小限に留め人件費を、計画より低く抑えた。また、消耗品などの無駄な支出を極力抑え、備品を計画的に購入し、市民サービスの向上に努めていた。その他経費は、21年度の啓蒙看板設置準備のための繰越金とイベント用茶園管理費である。	適	
管理費	1,560,000	2,195,748	635,748			
消耗品費	150,000	110,197	△ 39,803			
燃料費	160,000	214,200	54,200			
印刷製本費	0	0	0			
光熱水費	720,000	861,575	141,575			
修繕料	100,000	0	△ 100,000			
通信運搬費	50,000	41,851	△ 8,149			
手数料	0	3,045	3,045			
保険料	120,000	118,280	△ 1,720			
委託料	260,000	254,100	△ 5,900			
備品購入費	0	172,500	172,500			
その他	0	420,000	420,000			
事業費（ソフト事業等）	110,000	10,000	△ 100,000			
一般管理費	293,000	0	△ 293,000			
支出計	4,695,000	4,718,648	23,648			
収支	0	184,135	184,135			

総合コメント

指定管理者の努力により、年々参観者は増える傾向にある。また備品の補強により、サービスの向上につとめている。

平成20年度 茶業振興センター 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>参観者は年々増加しており、前年度比1.4人/年、計画より1.1人/年増であった。その内小中学生の社会見学が大半を占めており、担当者がわかりやすく丁寧に説明するため、好評を得ている。</p>	適
事業 収支	収入	<p>自主事業イベント参加者が少なかったため、イベント料は少なかったが、研修茶加工利用が多かったため、計画を上回った。</p>	適
	支出	<p>常勤1、補助員2の交代制で勤務をしているが、業務に支障のない範囲で補助員の出勤を必要最小限度にして人件費を低くおさえる努力をしていた。また、消耗品等も低く抑えて、備品を購入し、設備の充実を図ることができた。その他21年度に、伊勢茶（かぶせ茶）啓蒙看板を設置したいとの申し出があり、了解したので、準備金として42万を残した。</p>	適